MAK-211B　ZJ79　2005年12月1日発行

TOSTEM トステム株式会社

ルーフポートシグマ　取付け説明書

※この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ ▭ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

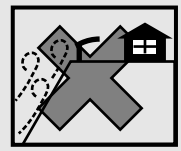
⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

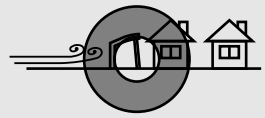
⚠ 注　意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
・ルーフポートシグマ（一般地域用900タイプ）は積雪（新雪）30cm以下の地域用です。
・本製品は、地上階に取付ける設計になっています。2階以上の高所には取付けないでください。強風にあおられるおそれがあります。
・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。





●躯体への固定

・タッピンねじは、柱・間柱・胴差しなどの構造体に必ず止めてください。躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
・プラグ類を使用してモルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから行わないでください。

●部材の固定

・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

●基礎

・基礎は当社指定寸法以上にしてください。

※地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。

・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

●施工

・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理

・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリング処理

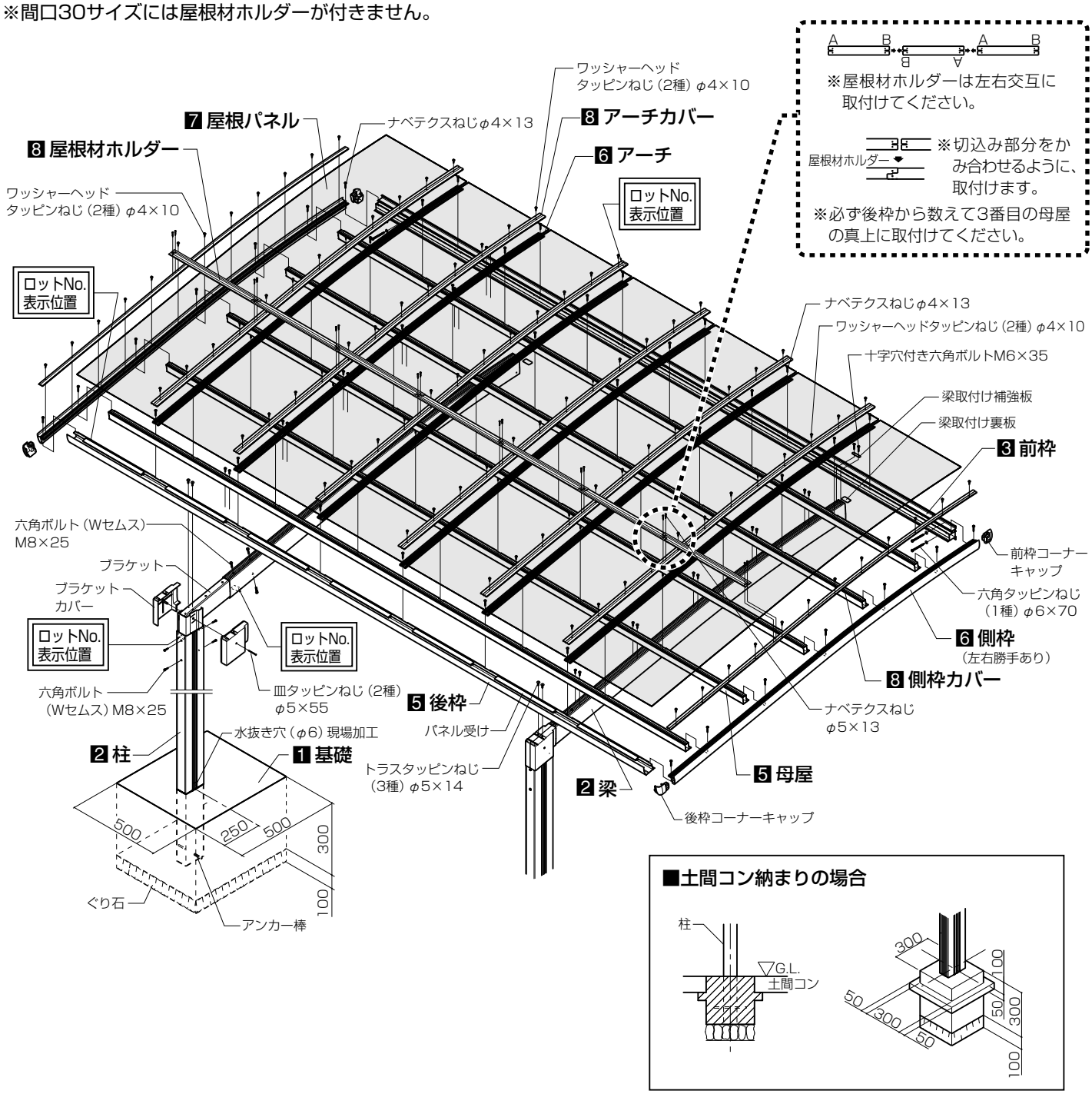
・指定の個所にコーキング材を充てんしてください。
・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

■取付け上のお願い

●取付けは、専門業者の方が行ってください。
●当社指定の付属品以外は取付けないでください。
●水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。
●屋根の上に物をのせないでください。

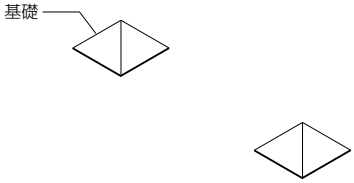
■構造説明図

※間口30サイズには屋根材ホルダーが付きません。



■取付け順序（基本タイプ）

1 基礎の施工



■取付け順序（基本タイプ）

1 基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。

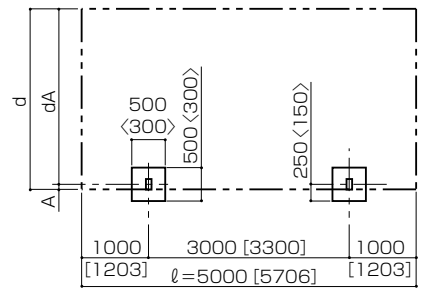
■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。
※〈　〉内寸法は土間コンの場合を示します。
※［　］内寸法は57サイズの場合を示します。
※二点鎖線は屋根投影サイズを示します。

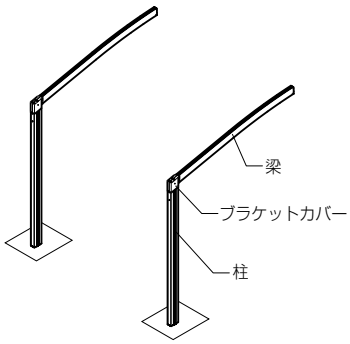
単位mm

サイズ呼称	d	dA	A
30	3023	2955	68
35	3499	3431	68
39	3899	3831	68

●50・57サイズ

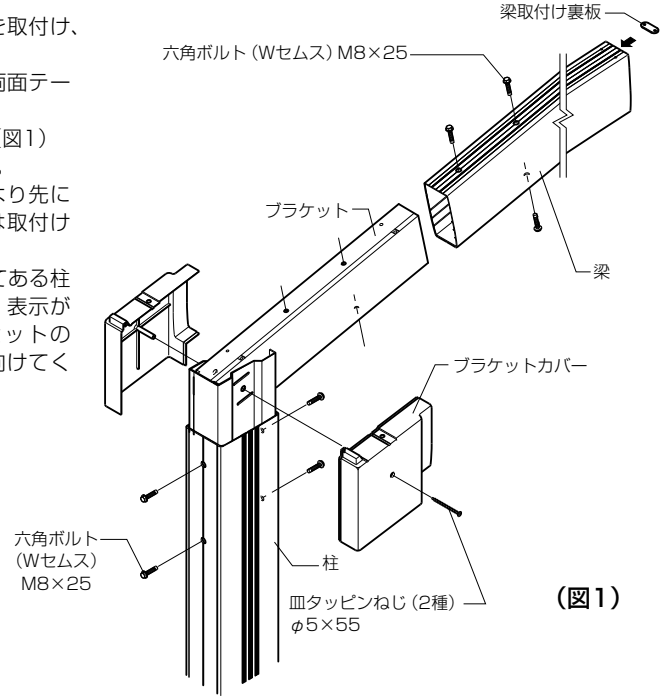


❷ 柱と梁の取付け



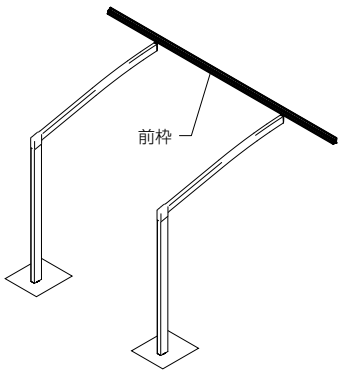
❷ 柱と梁の取付け

①柱にブラケット・アンカー棒を取付け、柱を建込みます。
②梁の内側に、梁取付け裏板を両面テープで張付けます。
③梁をブラケットに取付けます。(図1)
④ブラケットカバーを取付けます。
※ブラケットカバーは必ず後枠より先に取付けてください。後からでは取付けられません。
※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱に縦どいセットを取付けると、表示が見えなくなります。縦どいセットの取付けない側に表示ラベルを向けてください。



(図1)

❸ 前枠の取付け

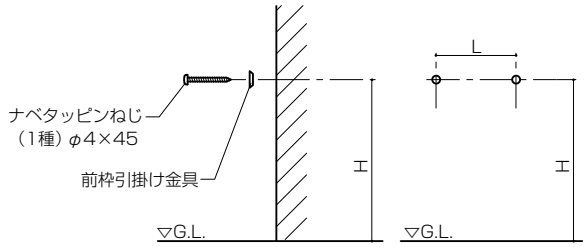


❸ 前枠の取付け

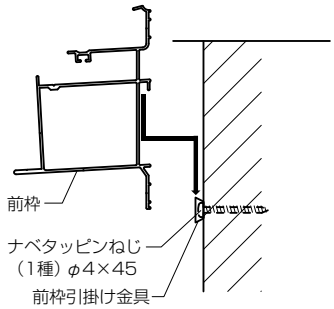
①躯体の主柱、又は間柱に前枠引掛け金具を計2カ所取付けます。(図2)
②前枠を引掛け金具にかけます。(図3)
③躯体にφ4.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんし、六角タッピンねじで取付けます。(図4)
④前枠上部にコーキング材を充てんしてください。

単位mm

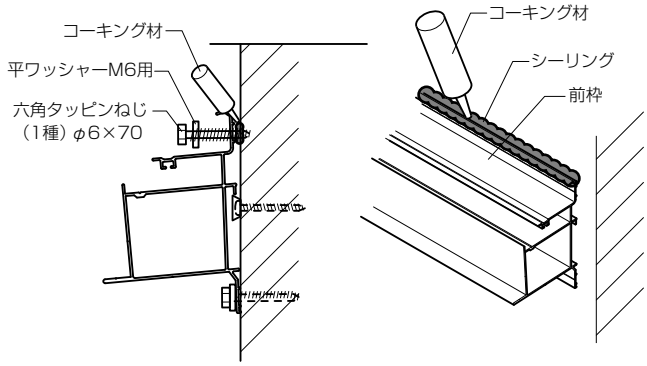
サイズ呼称	H	L
30	2876	4550
35	2977	4550
39	3062	4550



(図2)

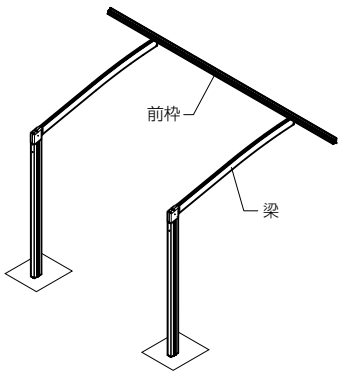


(図3)



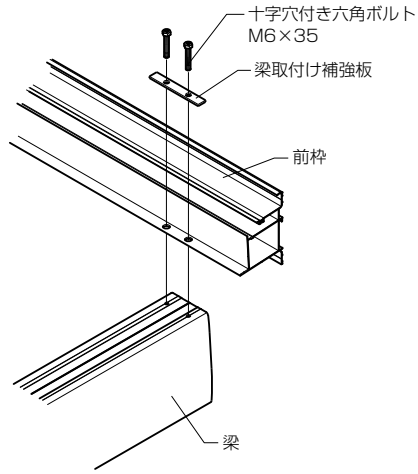
(図4)

❹ 梁と前枠の取付け

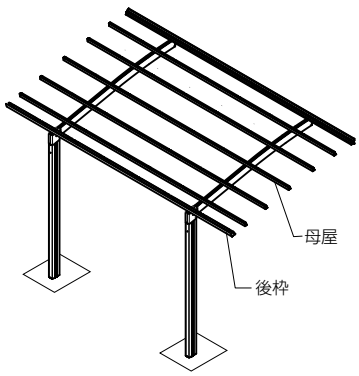


❹ 梁と前枠の取付け

①前枠の加工穴と梁の加工穴の位置を合わせます。
②前枠の上に梁取付け補強板をあて、十字穴付き六角ボルトで固定します。
※柱を移動した場合は、前枠を梁に合わせてφ6.5の穴加工を行ってください。
※既存の加工穴には、穴ふさぎシールを張ってください。



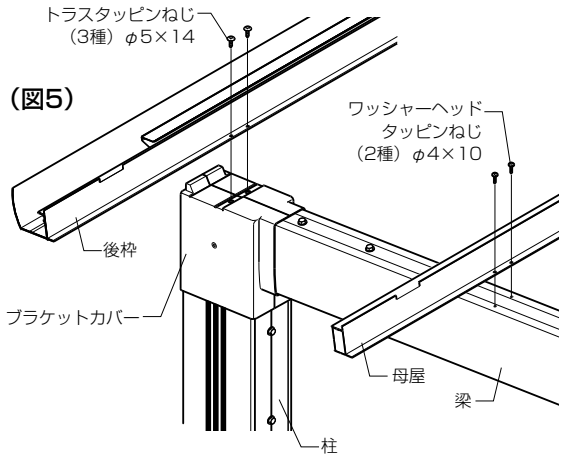
5 母屋・後枠の取付け



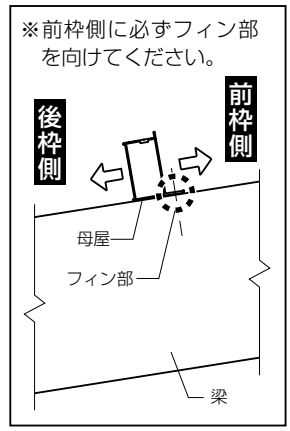
5 母屋・後枠の取付け

①後枠をブラケットカバーに取付けます。(図5)
②前枠側にフィン部を向け、母屋を梁に取付けます。(図6)
※柱を移動した場合は、母屋・後枠を梁に合わせて、後枠はφ5.5、母屋はφ4.5の穴加工を行ってください。
※既存の加工穴には穴ふさぎシールを張ってください。

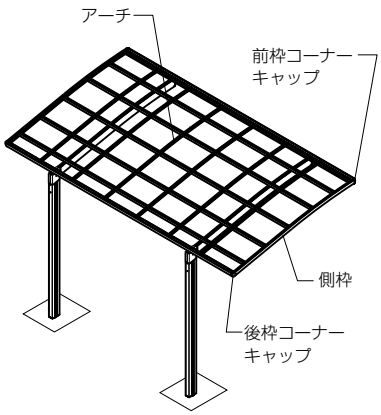
(図5)



(図6)



6 側枠・アーチの取付け



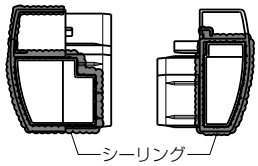
6 側枠・アーチの取付け

①前・後枠コーナーキャップに　コーキング材を充てんし(図7)、側枠に取付けます。
※側枠には左右があります。直線部を後枠側にしてください。(図8)
②前・後枠・母屋に側枠を取付けます。母屋の溝に合わせてねじ止めしてください。
③アーチの前後を確認し(図9)、取付けます。
④屋根枠周りの対角・水平出し、および柱の垂直出しをします。

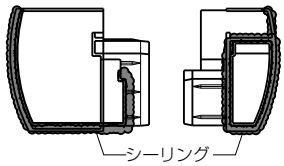
お願い
※前・後枠、母屋には加工穴があいていません。側枠・アーチ側の穴に合わせ、ナベテクスねじφ4×13で止めてください。

■シーリング個所(図7)

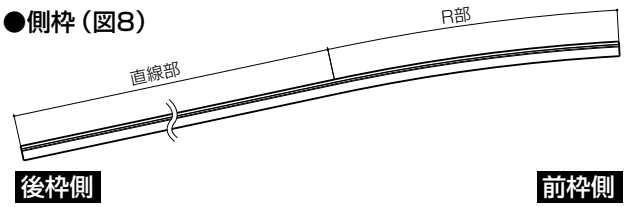
●前枠コーナーキャップ



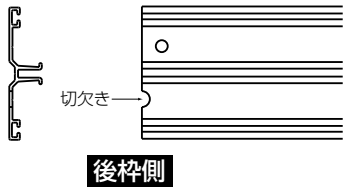
●後枠コーナーキャップ



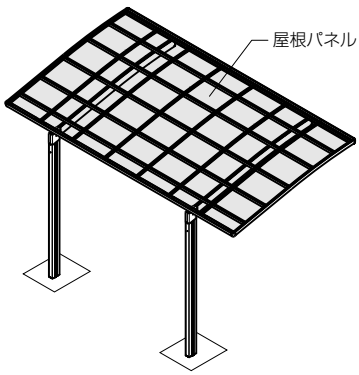
●側枠(図8)



●アーチ(図9)



7 屋根パネルの取付け



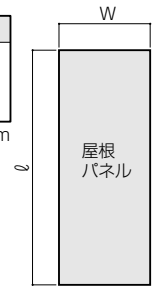
7 屋根パネルの取付け

●屋根パネルを前枠に差込み、パネル受けに差込んでください。
※屋根パネルは後枠側に突当ててください。(図10)
※アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等(16.5mm)にしてください。

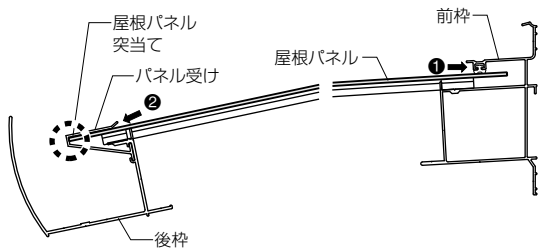
■屋根パネル寸法表

サイズ呼称	ℓ	W
30	3018	689
35	3505	
39	3914	

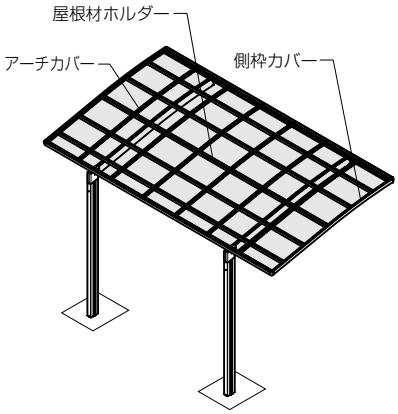
単位mm



(図10)



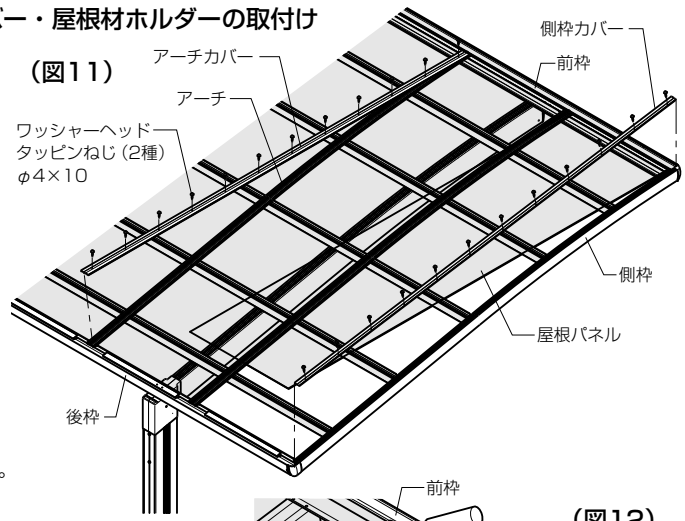
8 アーチカバー・側枠カバー・屋根材ホルダーの取付け

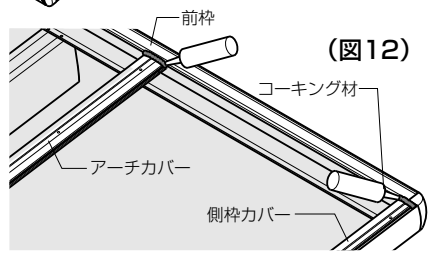


8 アーチカバー・側枠カバー・屋根材ホルダーの取付け

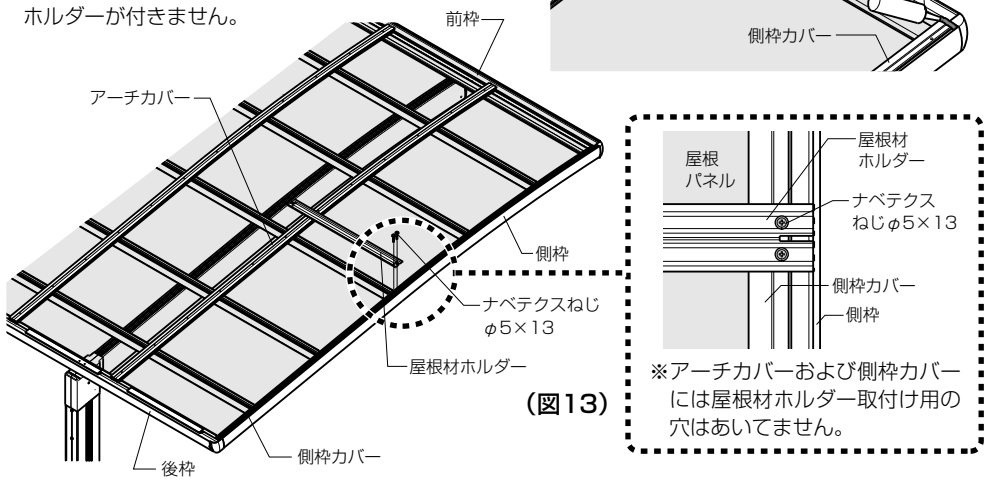
①アーチカバー・側枠カバーを前枠に突当てます。
②前枠側からアーチおよび側枠にねじ止めします。(図11)
※アーチとかみ合っていることを確認してください。
③前枠との間にコーキング材を充てんします。(図12)
④屋根材ホルダーを、後枠側から数えて3本目の母屋の真上の位置にねじ止めします。(図13)
※アーチカバー、側枠カバー側のねじのみ固定し、反対側は次の屋根パネルとアーチカバーを取付けた後で固定します。
※2本目以後の取付けは、1本目の屋根材ホルダーと反対向きにして、切込み部分をかみ合わせるように取付けます。(図14・図15)
※間口30サイズには屋根材ホルダーが付きません。

(図11)



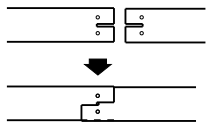


(図12)



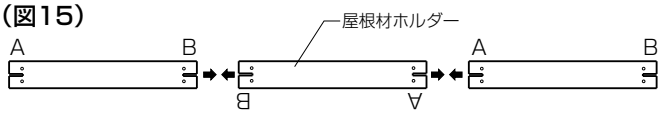
(図13)

※アーチカバーおよび側枠カバーには屋根材ホルダー取付け用の穴はあいてません。

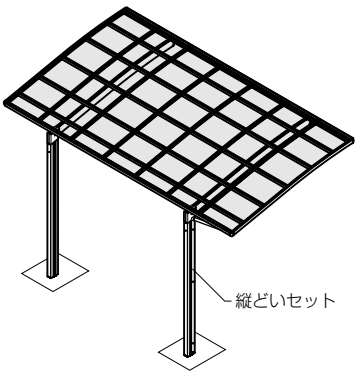


(図14)

(図15)

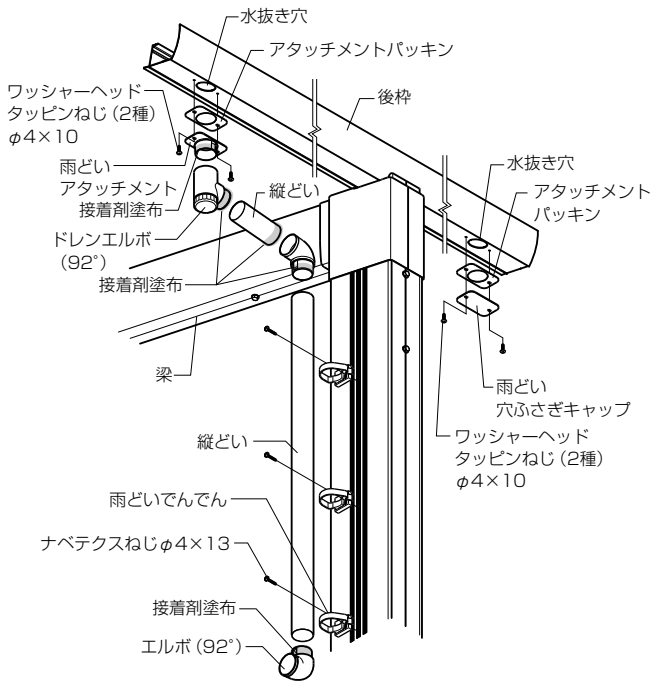


9 縦どいセットの取付け



9 縦どいセットの取付け

①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方に縦どいセットを取付けます。
②もう一方の穴に雨どいアタッチメント(穴ふさぎ)を取付けます。



■縦連棟の取付け

1 基礎の施工

●柱埋込み穴の位置を出し、柱基礎穴を掘込みます。
※基礎構造については基本タイプを参照してください。

■墨出し位置

※柱の移動は±100mm以内です。
※〈　〉内寸法は土間コンの場合を示します。
※［　］内寸法は57サイズの場合を示します。
※二点鎖線は屋根投影サイズを示します。

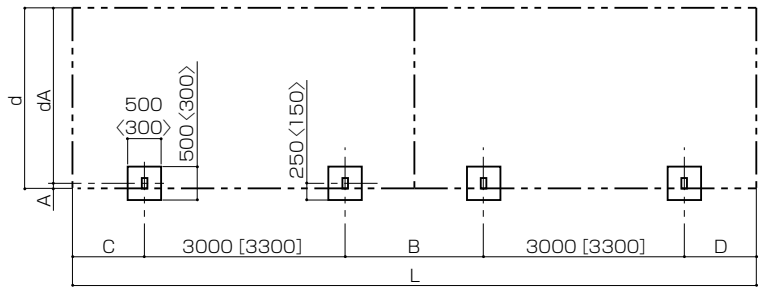
単位mm

サイズ呼称	d	dA	A
30	3023	2955	68
35	3499	3431	68
39	3899	3831	68

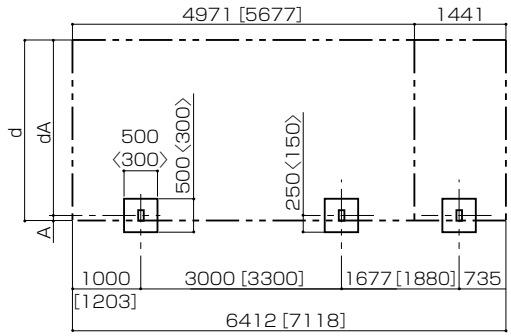
単位mm

サイズ呼称	L	B	C	D
50型・50型	9942	1942	1000	1000
50型・57型	10648	2145	1000	1203
57型・57型	11354	2348	1203	1203

●50サイズ+50サイズ、50サイズ+57サイズ、57サイズ+57サイズ



●50サイズ+14サイズ、57サイズ+14サイズ

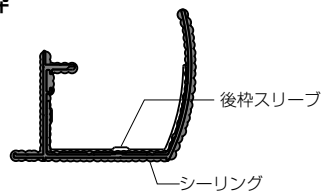


2 本体の組立て

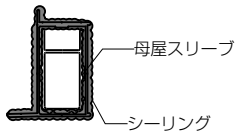
①組立て前に、前枠・母屋・後枠の連棟側を現場加工してください。（図1）
②連棟部分を組立てます。（図2）
※連棟部分にコーキング材を充てんし、連棟スリーブ・前枠・母屋・後枠をそれぞれ接続します。
※連棟部分以外の組立ては、基本タイプを参照してください。

■シーリング個所

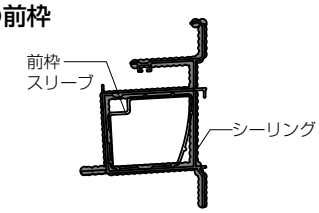
●後枠



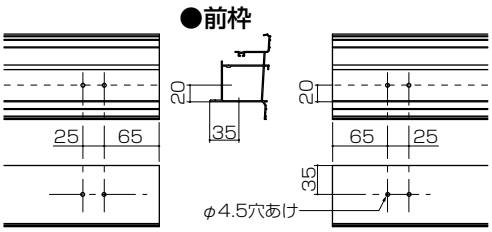
●母屋



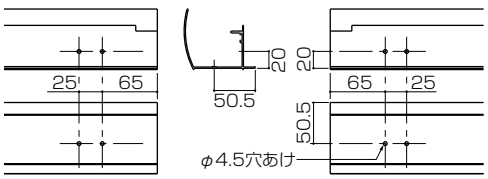
●前枠



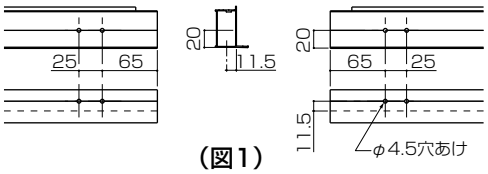
●前枠



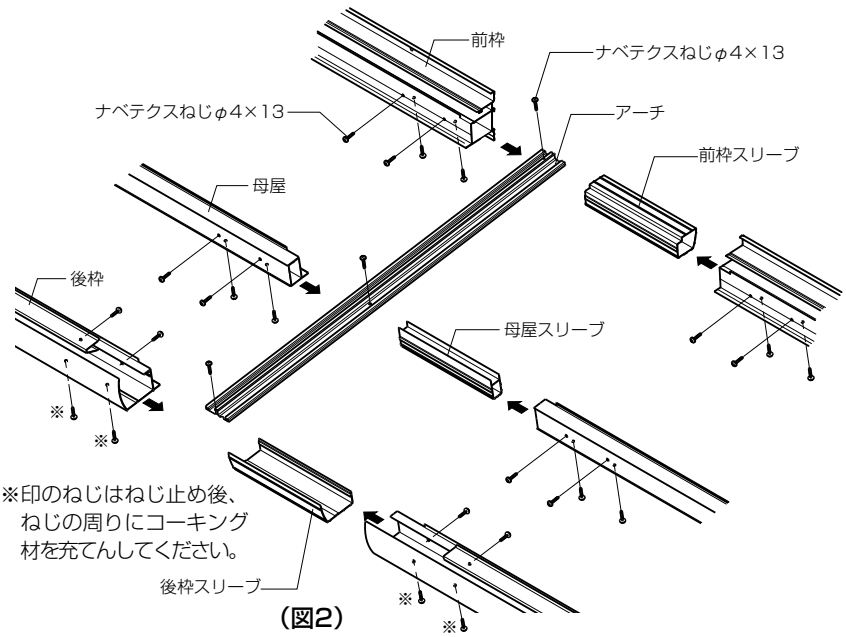
●後枠



●母屋



（図1）



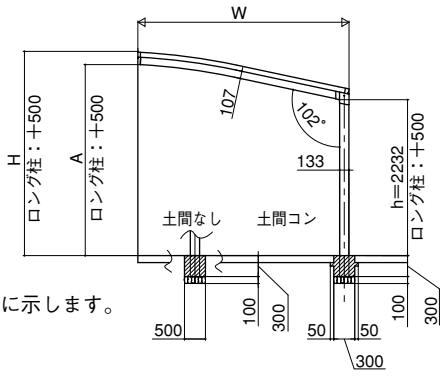
（図2）

■参考納まり図

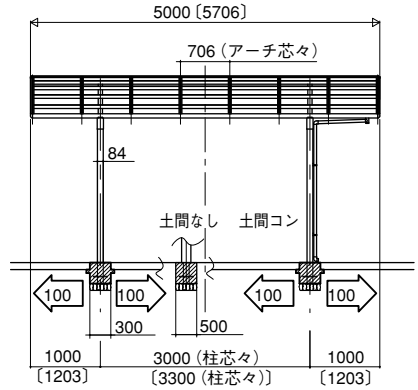
●基本タイプ

単位mm

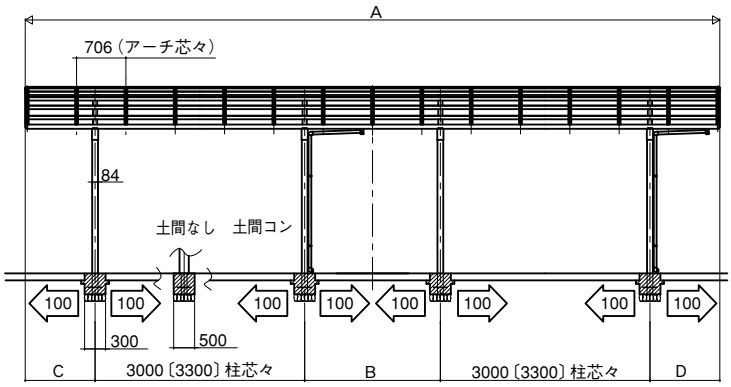
	W	H	A
30型	3023	2924	2733
35型	3499	3025	2835
39型	3899	3110	2920



※57サイズは〔　〕に示します。



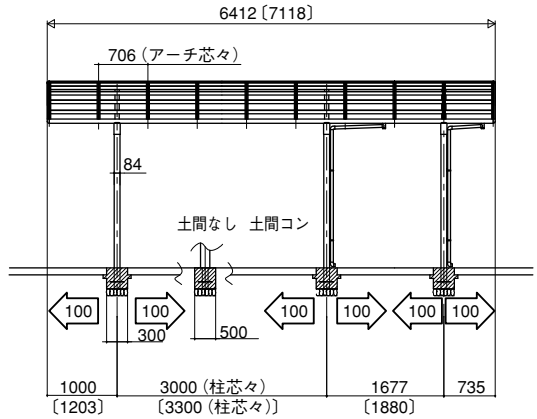
●縦連棟



※ 57サイズは〔　〕に示します。
※ B寸法は連棟部を示します。

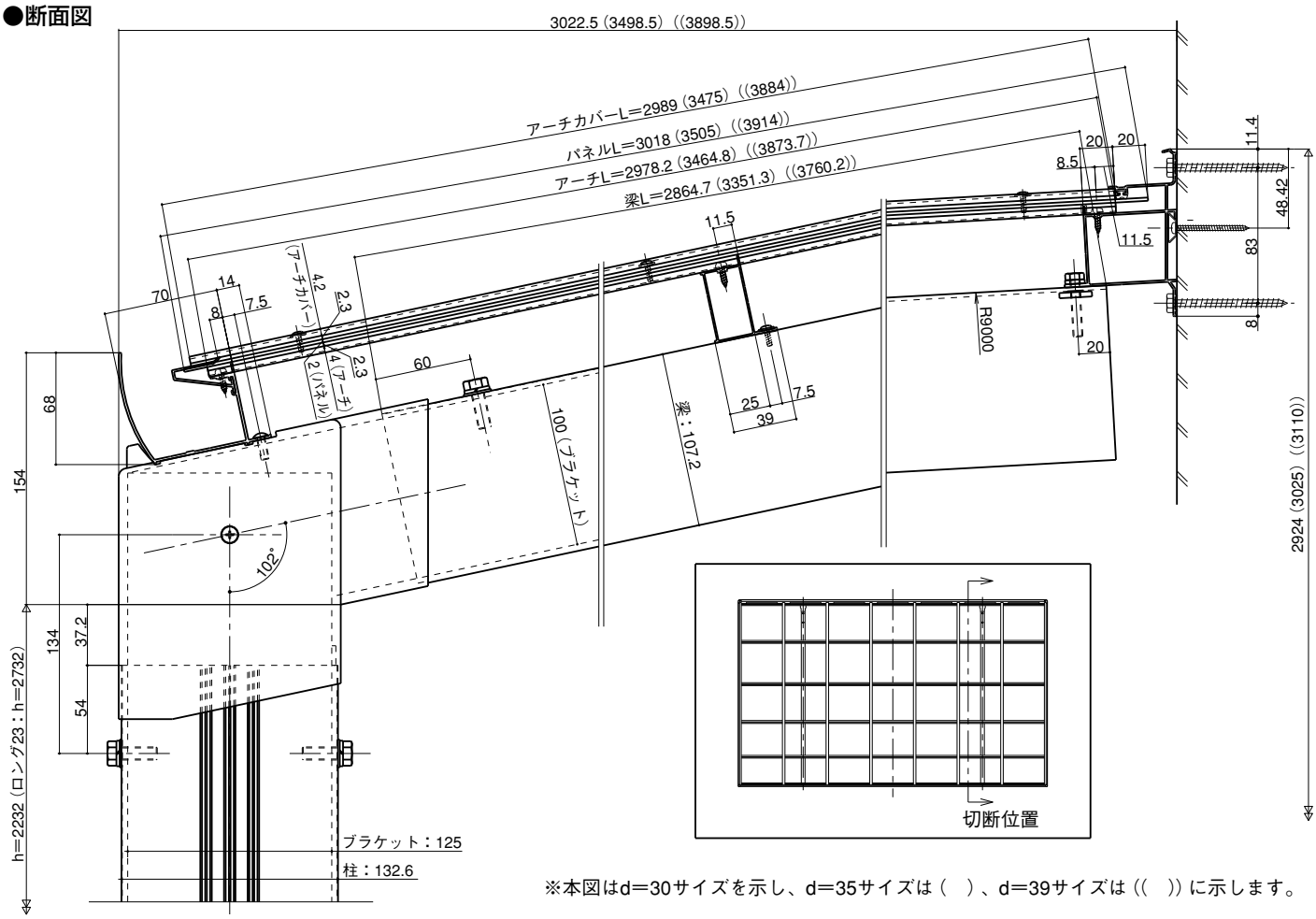
単位mm

	A	B	C	D
50型・50型	9942	1942	1000	1000
50型・57型	10648	2145	1000	1203
57型・57型	11354	2348	1203	1203



※ 57サイズは〔　〕に示します。

●断面図



※本図はd=30サイズを示し、d=35サイズは（　）、d=39サイズは（(　)）に示します。

■梱包明細書

●柱セット

名　称	員　数			
	標準柱　2本入	標準柱　1本入	ロング柱23　2本入	ロング柱23　1本入
標準柱	2	1	−	−
ロング柱23	−	−	2	1
取扱い説明書	1	−	1	−

●梁セット

名　称	員　数	
	2本入	1本入
梁	2	1

●長さセット

名　称	員　数					
	5030用	5035・5039用	5730用	5735・5739用	1430用	1435・1439用
前枠	1	1	1	1	1	1
後枠	1	1	1	1	1	1
パネル受け	7	7	8	8	2	2
母屋	4	5	4	5	4	5
縦どい	1	1	1	1	−	−

●幅セット

※(　)内は30用の場合を示します。

名　称	員　数						
	5030用	5035・5039用	5730用	5735・5739用	連棟50用	連棟57用	連棟14用
側枠右	1	1	1	1	−	−	−
側枠左	1	1	1	1	−	−	−
側枠カバー	2	2	2	2	−	−	−
アーチ	6	6	7	7	7	8	2
アーチカバー	6	6	7	7	7	8	2
屋根材ホルダー	−	7	−	8	7(−)	8(−)	2(−)

●連棟部材セット

名　称	員　数	
	30用	35・39用
前枠スリーブ	1	1
後枠スリーブ	1	1
母屋スリーブ	4	5
部品セット	1	1

●ブラケットセット

名　称	員　数	
	2本入	1本入
ブラケット	2	1

●部品セット

名　称	員　数					
	5030用	5035・5039用	5730用	5735・5739用	1430用	1435・1439用
前枠コーナーキャップ（L/R）	各1	各1	各1	各1	−	−
後枠コーナーキャップ（L/R）	各1	各1	各1	各1	−	−
ブラケットカバー（L/R）	各2	各2	各2	各2	各1	各1
雨どいアタッチメント	1	1	1	1	1	1
雨どい穴ふさぎキャップ	1	1	1	1	1	1
アタッチメントパッキン	2	2	2	2	2	2
ドレンエルボφ40用	1	1	1	1	1	1
92°エルボ	2	2	2	2	2	2
でんでん	3	3	3	3	3	3
接着剤	1	1	1	1	1	1
アンカー棒	2	2	2	2	1	1
ブチルコーキング（100g）	1	1	1	1	1	1
穴ふさぎシール（φ15）	26	30	26	30	10	14
六角ボルト（Wセムス）M8×25	14	14	14	14	7	7
皿タッピンねじ（2種）φ5×55	2	2	2	2	1	1
トラスタッピンねじ（3種）φ5×14	4	4	4	4	2	2
ワッシャーヘッドタッピンねじ（2種）φ4×10（D＝10）	166	210	183	232	50	63
ナベテクスねじφ4×13	56	64	62	72	16	18
六角タッピンねじ（1種）φ6×70	12	12	14	14	4	4
平ワッシャーM6用	12	12	14	14	4	4
梁取付け裏板	2	2	2	2	1	1
前枠引掛け金具	2	2	2	2	−	−
ナベタッピンねじ（1種）φ4×45	2	2	2	2	−	−
ナベテクスねじφ5×13	−	16	−	19	−	4
梁取付け補強板	2	2	2	2	1	1
十字穴付き六角ボルトM6×35	4	4	4	4	2	2
取付け説明書	1	1	1	1	−	−

●屋根パネルセット

名　称	員　数		
	1枚入	3枚入	4枚入
屋根パネル	1	3	4

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。